

相 談 事 例

ID : 02-02-002

相談タイトル

建物周りの地盤陥没に対する処理・対応について

Q：ご相談内容

実家の建物（住宅）であるが、建物外周部分の一部に、地盤陥没の穴が開いてしまう。
一度、穴の開いたところを、土で埋めて処理をしたが、また、最近になり陥没してしまった。どのような対応を行ったら良いのか、現地を確認し対応策を示してくれる人はいないか聞きたい。

A：回答

一般的な内容としては、建物周りや設備柵周りが少しへこんだ程度の陥没であれば、当初の基礎や柵周りの埋め戻し時に十分な突き固めが難しい箇所となりますので、時間の経過とともに、比較的によく出てくる症状となります。その場合には、陥没した部分に砕石や土を入れ突き固めることによって、ほぼ、解消され则认为ます。
陥没した穴が深く、以前に埋めた部分が再度同様に、深く陥没したとなりますと、土が流れてしまう要因があると思われるので、地下水の状況や設備の埋設配管の破損など、土が流れてしまう原因を調査する必要があります。その場合には、建築士の方や土質調査を行っている方等に現地を確認してもらった方が良いと考えます。原因をつかんだ後にその対処策を講じ、その後埋め戻しを行うこととなります。